

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	楽しみにつながる課題のひとつとして、「美味しい？」より「美味しいね。」と、毎日利用者と職員と一緒に味わえる取り組みにも期待したい。	利用者さまと同じ食事ができ、食事を共に味わい、共感し合える時間を作る	事業所として昼食にまかないを取り入れ、利用者さまと一緒に食事を楽しむ時間を作り、ゆったりとした時間を作れるようにする。	4ヶ月
2	16.2	災害対策には限りがないため、施設内の突っ張り棒処 置や備蓄防災品等の適切な配置場所の検討、及び地域住民や行政・警察署等へもホームの災害時対策への理解を求め、協力体制をより強化されていくことを期待したい。	施設内の防災対策の見直しを行う、また、防災に対し、少数の職員しか知らない現状から、全職員が周知でき、防災意識が高まるような取組みを行う。	①転倒防止対策の見直し ②備蓄品の整備 ③職員教育の実施 ④地域への協力体制の強化	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。